

○急告

○まだ一號以來の代金を拂つて來ない方があつて整理上甚だ困ります。この際至急お拂ひ込み下さい。この上猶拂ひ込まれない向は、已むを得ず次號から雜誌をお送りするのを中止いたさなければなりません。

○贊助讀者募集——贊助讀者には三つの特権があります。御希望の方は直接本社へお聞き合せ下さい。その節は必ず往復ハガキで願ひます。

○一號二號殘本

○兩方ともごく僅かばかり殘本が出ました。一度品切で、お断り申したお方は、此際改めて至急御注文下さい。またぢきなくなる恐れがあります。

○綴方募集

○「赤い鳥」の「綴方」は世間で大變評判になつてをります。「赤い鳥」は、多くの人が文章に對して考へてゐることが非常に間違つてゐるので、どういふのが本當にいい作文かといふことを教へるために、特にこの欄を設けたのです。綴方が上手だと言はれてゐる人も、下手だと思つてゐる人も、どしどしよこして御覽なさい。それが「赤い鳥」の選に這入らなければ、本當に上手なわけではありません。

下手だと思つてゐる人も下手かどうか分ります。

○綴方の書方——半紙か、でなければ半紙と同じ大きさの紙へ、まづ題を書いて、その一行隣へ名前を書くこと。その名前の上には△△府縣△△市郡△△小學校△△年級と二行にわたつて書き添へること。一行に十七字より餘計に文字を書かぬこと。この場合「も」も一字として數へること。この規則に従はないものは遠慮なく没書にします。

○創作童謠童話募集

○童謠は本號に選出した程度のものの外に、特に幼稚園以下の子供の使ふ言葉だけで作つた、それらの子供にも容易に謠ひ得るやさしい謠を募集します。北原白秋氏選。童話は鈴木三重吉選。十回以上推奨された方はいづれも一人の作家として社會へ推薦します。原稿には必ず一題毎に住所姓名明記のこと。但し誌上の變名は隨意です。規則は綴方に準じます。但し一行二十字詰のこと。

○各地童謠傳説募集

○童謠は北原白秋氏選、傳説は鈴木三重吉選。原稿には「地方童謠」地方傳説」と朱書のこと。規則はすべて綴方及び童話の條參照。

定價一冊金拾八錢

送料金壹錢 外國金六錢

但臨時號、特別増大號のときには別に増額を申受けます。

- | | | | |
|-----|-----|-------|---------|
| 三冊 | 送料共 | 金五拾五錢 | 金七拾錢 |
| 六冊 | 送料共 | 金壹圓八錢 | 金壹圓三拾八錢 |
| 十二冊 | 送料共 | 金貳圓拾錢 | 金貳圓七拾錢 |

廣告料

一等 金參拾圓 二等 金貳拾五圓 三等 金貳拾圓 普通 金拾八圓 但し俗惡な賣品、意匠の低下な廣告は謝絶。

送金の御注意

○御注文はすべて前金を申受けます。○御送金は可成振替貯金で願ひます。手數料や一圓以下は一錢ですむじに拂込書へ手紙を書けます。拂込書は郵便局で入ります。口座番號は東京貳九四壹六番。加入者東京府北豐島郡高田村三五五九赤い鳥社。○切手代用一割増。五厘一錢切手に限る。○御注文のときには必ず第何巻の第何號からといふことを御指定下さい。○御照會は必ず往復ハガキで願ひます。

大正七年十月三日印刷納本(毎月一回) 大正七年十二月一日發行(一日發行)

編輯兼 發行人 鈴木三重吉
東京府北豐島郡高田村三五五九番地

印刷所 東京府北豐島郡高田村三五五九番地
三協印刷株式會社

發行所 東京府北豐島郡高田村三五五九番地
「赤い鳥」社
振替東京二九四一六番